

令和5年度の事業報告について

1. 高齢者数、包括職員数等の現状について

- ・ 資料3-2のとおり
 - 高齢者人口が増加傾向にある中で、現状、2か所の包括地区において65歳以上人口が6,000人を超過している。
 - 複数の包括で職員の欠員が発生しており、包括職員の業務負担が増加している。
 - 予防プラン作成件数についても、多数の包括で年々増加している。
 - 上記から、高齢者人口の増加やそれに伴う業務負担の増加にも対応可能な、持続的な体制整備を行う必要がある。

2. 業務種別実績(令和2年度～令和5年度)について

- ・ 資料3-3のとおり。
- ・ 令和5年度実績値の主な特徴としては以下のとおり。
 - 9か所全ての地域包括支援センターの対応件数の合計は44,649件。
 - 対応件数の合計は前年度比で1,392件増加(103.2%)。
 - 「総合相談」において、「医療」や「認知症」に関する相談件数が増加傾向にある。

3. 経常活動収支状況(令和5年度)について

- ・ 資料3-4のとおり。
 - ※本資料については、会議終了後に事務局にて回収。(オンライン参加の場合は個別に廃棄願います)
- ・ 法人毎に『その他経費』の取り扱いに差異もあり、センター毎の財務状況を必ずしも表しているものではないため、参考としてご確認いただくもの。